

(仮称)屋代スマートIC周辺での交通拠点整備基本計画(案)に対する意見募集結果

○意見提出者8名(意見総数13件)

○貴重なご意見ありがとうございました。提出された意見の概要及び市の考え方は次のとおりです。

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	「越ひちろ」氏の作品をバスの待合室、入口玄関、交流広場、スマートインターや商業施設に展示してほしい。他にも長野県の芸術家、小松美羽、東山魁夷、アーモンド、倉島玲子等の作品も展示するとより魅力的な空間になると思う。	バスの停留所に展示する予定はございませんが、今後のサウンディング調査を行う中で来訪者にとってより魅力的な空間となるようご意見を参考にしていまいります。
2	物販や休憩場等の施設としてトレーラーハウスの提供および災害対応車両登録制度の活用を提案する。	今後のサウンディング調査を行う中でご意見を参考にしていまいります。
3	国道403号線は現状でも交通量が多く渋滞しているので拡幅することが必要と考える。	「屋代工業団地」交差点から「工業団地南」交差点の区間はアクセス道路の整備に併せて拡幅予定です。 「横町」交差点から倉科踏切間の交通渋滞緩和については市から県へも要望しておりますが、当面の対応として信号の調整等警察や県道管理者への協議を行ってまいります。また抜本的な渋滞対策として県立歴史館から一重山を越え国道18号線「打沢」交差点に抜ける道路の整備についても県と協議を引き続き進めてまいります。
4	既存のパークアンドライドのほか市内循環バス及びカーシェアやシェアサイクルは必須。これらの交通を整備しそれをPRすることで、で観光客やビジネス客も増えると思う。また、カーシェアやシェアサイクルは首都圏で最も会員の多い事業者を選定すべき。	既存の顧客ニーズだけではなく新規顧客ニーズを取り入れ、新たな需要を喚起できるようご意見を参考にしていまいります。
5	千曲市を車で訪れる方々のウエルカムステーションとしての機能をもちつつ、地域の人々が行きやすく日常に必要なところになればいいと思う。県立歴史館を核とした文化ゾーンへとつづきあんの里や焼捨の棚田上山田温泉など千曲の各地へと誘うオアシス的な感じの施設にもなればいいと思う。	交通拠点のアクセス機能を図り、市内外の方たちの流れや賑わいを拡散していくためご意見を参考にしていまいります。
6	施設の周りに道の駅的な直売所物産館や市民が集う図書館などを整備してほしい。	市が新たに公共施設を整備する予定はありませんが、今後(仮称)屋代スマートインターチェンジ周辺において予定されている民間開発との連携も含めてご意見を参考にしていまいります。
7	交通拠点施設の植栽にはあんずを植えてください。国道から歴史館へと繋がる道路の街路樹もあんずを植えて日本一のあんず並木道にして欲しい。 市のイメージフルーツとしてのあんずを充分に取り入れ、活かした設計デザインのまちづくりに期待している。	あんずの木はほかの植栽と比べて管理にコストがかかりますが、ご意見として参考にしていまいります。
8	以下の理由からバス停および乗用車駐車場は現状のままとするのが望ましいと考える。 ・山に囲まれた入江のような狭い場所で、高速道路しかなく鉄道駅や幹線道路から遠く離れたところが何故モータールコネクタ拠点になるのか。 ・上信越道屋代高速バス停の利用者は1日30～40人で、ここを観光拠点にするとの計画案であるが、どこに行くにも不便なところ。バス停を立派にしても利用が増えることはないと思う。数十人が利用するバス停のために貴重な平地を潰し、6億円以上もの費用をかけることはおかしいのではないかと。 ・「交通拠点」として計画されているエリアは既設の住居に隣接しており、騒音・排気ガス、交通事故・違法駐車等、住環境への影響が大きい。 高速バス運行の観点からは、計画方式はバスがスマートICを経由する必要があることなどから制約面が多い。また、一般車両とバスが交差する地点が増えることから交通安全上の問題がある。高速道路脇にある現状のバス停の方が柔軟性が高く、長野―東京間の所要時間も短くて済む。	(仮称)屋代スマートインターチェンジを建設することで、現状の高速バス停は廃止せざるを得ないことから、新たな高速バス停を含めた交通拠点の整備を計画しております。
9	県外からの高速バスでの来訪者のために、屋代SICに大手レンタカー、大手カーシェアを誘致いただきたい。 理由 ・市内在住者以外には、馴染みがなくPattoは使いづらい。 ・電動キックボード・シェアサイクルポートは一案ではあるが、荷物が多い場合や悪天候時には利用しづらい。 ・路線バスが本数、行先とも限られるため、使いづらい。	既存の顧客ニーズだけではなく新規顧客ニーズを取り入れ、新たな需要を喚起できるようご意見を参考にしていまいります。

10	県外からの高速バスでの来訪者のために、屋代SIC－屋代駅の路線バスを、高速バスの発着と接続させて運行いただきたい。（空港バスと同様のイメージ） また県外からの高速バスでの来訪者のために、「屋代SIC－屋代駅の路線バス」と循環バスを短時間で乗り継ぎできるようにしていただきたい。 理由 ・待ち時間減少による利便性の向上のため。 ・「屋代駅への公共交通アクセスを可能とする地域公共交通」と記載があるが、しなの鉄道との乗り継ぎニーズはない。しなの鉄道との乗り継ぎが目的の乗客は、上信越道屋代では降りず、上田駅が長野駅で降りるため。	今後、関係するバス事業者や関係機関とのヒアリングを通し、ダイヤ調整や乗り継ぎの工夫等ご意見を参考に協議してまいります。
11	無人タクシーなどの次世代技術の到来を注視し、将来を見据えた計画にしていきたいと思います。 理由 ・R12年度の完成を目指しているため、完成までには技術的革新が想像される。交通環境も激変している可能性がある。今後の人口減少社会を見据えると、大規模な路線バスが少ない本数で運行されるよりも、中小規模のモビリティが必要時にすぐ使えるほうが望ましいと考える。	今後のサウンディング調査を行う中でご意見を参考にしていまいります。
12	「表 2.3 居住地別高速バスの利用目的(乗車)」 「表 2.4 居住地別高速バスの利用目的(降車)」について、観光/レジャーなどの縦軸が『県外から来て千曲市で観光/レジャーする』、『千曲市から県外に行き観光/レジャーする』のどちらの意味なのか明確化していただきたい。 理由 ・現状・課題の明確化のため。	ご指摘の表について、居住地別に高速バスの利用目的を乗車及び降車それぞれに対してチェック方式で聞き取っております。例えば、市内居住で観光/レジャーで乗車した分類は、観光/レジャー目的で高速バスへ乗っており、また市内居住で観光/レジャーで降車した分類は、遠方へ観光し帰ってきたと想定されます。
13	1. 44頁から記載の公民連携について、工事が大幅に遅れている八幡東産業団地と同様に公民癒着事業として千曲市から事業者に様々なお願いをする見返りとして何らかの便宜を図るつもりなのか？ 2. 第1項につき、上下水道課長が令和6年2月16日付報告書の中で「令和6年7月に本件開発区域の全体に対して受益者負担金を賦課する予定で、その金額は数千万円に上る」と本来であれば6700万円のところ数千万円に減額し賦課する旨の利益供与を表明している。(株)アクティオホールディングスから徴収した受益者負担金の金額を公表せよ。千曲市にはこの受益者負担金を巡る汚職事件に関して説明する責任がある。市民にはそれを知る権利がある。 3. 第1項につき、国内最大級を謳い三重のいなべに次ぎ6番目となるはずだった長野ちくまテクノパーク統括工場は、広島、千歳、鹿児島島の始良市に先を越されている。令和5年に完成予定と令和3年5月の市報に掲載されていたのだが、工場が操業し200人の雇用が創出され経済が活性化するのはいつになるのか？ 4. 昨年度「千曲市総合運動公園基本構想」と「千曲市防災拠点・道の駅整備事業基本構想」についてパブリックコメントが実施されたが、夫々具現化するのはいつになるのか？ 5. いずれの構想・計画も結局のところ実現させる気配がない。お金と時間の無駄遣いである。基金を取り崩さなければならないほど市の財政が厳しい中、なぜひとつずつ着実に計画を進めないのか？ 以上、千曲市まちづくり基本条例第26条に則り応答されたし。	本パブリックコメントは、(仮称)屋代スマートインターチェンジ周辺での交通拠点整備基本計画について意見を公募したものですので、本意見については、回答を差し控えていただきます。本市へのご意見ご提案をご希望の場合は、下記の「市政へのご意見・ご提案」をご利用ください。 「https://www.city.chikuma.lg.jp/soshiki/hishokoho/shichoshitsu/4/index.html」 なお、2のご意見については、記載のような事実はありませんので、申し添えます。